

学科通信（G）【第14号】

◇ボランティア講座

先日、講師の方をお呼びしてG科全員でボランティア講座を受けました。8月にボランティアを実施したこともあり、講師の方のお話をより実感を持ちながら聞くことができたのではないのでしょうか。個人的にはボランティアを「する」側の話しはよく聞きますが、自分がボランティアの支援を必要とするときの手続きや流れを知ることができてとても参考になりました。

君たちに書いてもらった感想を見ると、「今回は災害ボランティアだったけど、それ以外にも自分ができるようなボランティアがあるので参加してみたい。」や「災害時には心に寄り添うということもボランティアの一つの形だと思った。難しいことだとは思いますが、できる限り心がけながら次に生かしたい。」など、君たちにとっても貴重な機会になったことが感じ取れました。

何か起こってから行動し始めるよりも、何か起こることに備えて準備しておくことがやはり大事だと改めて感じました。しかし、心の中では「自分は大丈夫だろう」というような気持ちも持ってしまうものなのかなと思います。だからこそ、今回のような機会を通して自分自身の「備え」を見直してほしいと思うし、その意識を他の人にも伝染させてほしいと思います。災害ボランティアが必要とされないような穏やかな日々を過ごしたいものです。

◇全国大会北陸大会

学科長は現在、農業クラブ全国大会で石川県に来ており、この学科通信は宿舎のすぐ隣にある良い感じの広場で書いています。とても気持ちの良い夜です。コンビニで買ったコーヒーもいつもより美味しい、そんな夜です。

明日が大会式典で、今日はそのリハーサルがありました。といっても、メインは県連会長なので、私は近県の先生方とお話をさせていただきながら、それぞれの学校のことや授業の様子などを聞いていました。全国大会という舞台で引率した生徒が立派に発表する様子を見ることも当然嬉しいことですが、他県の先生方との交流があるというのもまた嬉しいことです。ダリア班と一緒に来たかったなあ！というのが本音です。来年はG科で熊本大会行きましょう。

農業クラブは成長の場です。仲の良い人に囲まれ、自分にとって居心地の良い環境で過ごすのは確かに君たちを安心させるとは思いますが、いずれ誰しもが卒業し、生活環境も人間関係も変化していきます。そういった変化に対応していくには、自分の居心地の良さも当然大事ですが、自分をどう成長させてくれるかという視点で居場所を選択していくことも大事かなと思います。眠れない夜もあると思いますが、居心地ばかりを求めずに自分の生きる場所を選んでほしいと思います。農業クラブの活動は成長の場という意味でも君たちにとってとても大切な活動になってくるはずです。

10.31 文責 齋藤